

會學濟經學大國帝都京

# 叢論濟經

號二第卷一十五第

月八年五十和昭

哀辭 故財部教授遺影署名及原稿

### 論叢

支那の農家負債と農地の抵押……………經濟學博士 八木芳之助  
水産資源の保全について……………經濟學博士 蜷川虎三

### 時論

東亞新秩序建設と新國民政府の發展性……………文學博士 矢野仁一

### 研究

民國初期の兌換券……………經濟學士 徳永清行  
自由貿易主義の吟味……………經濟學士 岡倉伯士

### 記事

財部教授逝く  
故財部教授年譜及著書論文目錄

### 追憶文

神戶正雄 本庄榮治郎 蜷川虎三  
木村喜一郎 吳文炳 宗藤圭三  
青盛和雄 松岡孝兒 石川興二  
黒正巖 藤本幸太郎 谷口吉彦  
岡崎文規

### 附錄

### 彙報

外國雜誌論題

哀 辭

京都帝國大學教授 國際統計協會正會員 財部靜治先生  
溘焉として逝去せらる 嗚呼悲しい哉

先生は明治三十七年京都帝國大學法科大學の業を卒へ 爾  
來法科大學法學部經濟學部を通して教職にあること實に三十  
三年餘 明年一月將に還曆の壽を迎へんとして 今卒然とし  
て易簀せらる 痛恨何ぞ之に過ぎん

先生はその專攻する所の學を以て學界に不朽の貢獻をなし  
たるのみならず 又經濟學部長として本學の經營に力を致し  
中央における各種委員として國の行政に參畫せり その名利

に超越せる脱俗の風格は人のよく知る所なり

先生はまたわが京都帝國大學經濟學會の評議員として會務に盡瘁せらる。殊に久しく會計擔任として本會の基礎を鞏固ならしめたる功績は特に大なるものあり。且本誌に寄せられたる幾多の研究は學界不朽の論說として、一種の風格を具へたる文章と共に、本誌に光彩を加へたること幾何なるやを知らず。本會の先生に負ふ所亦蓋少に非るなり。

茲に謹みて先生の遺影を掲げ、以て哀悼の誠意を表す。

昭和十五年七月

京都帝國大學經濟學會



时香亭

序 記

人類歷史以人類為中心，以三時空為三軸，其關係之  
 氣呼吸之野火也。不知日月力機之而故也。其  
 博物新編（昭和五二）七二）年再新、集、其、因、文、所、著、者、六、冊、  
 史、而、兩、洋、思、想、結、合、上、述、唯、亦、上、著、公、體、新、編、二、十、九、明、七、年、  
 （一、七、四）新、成、在、其、體、式、故、體、新、編、文、辭、並、圖、式、亦、三、冊、不、  
 二、一、小、新、三、冊、今、二、一、新、編、之、時、十、一、一、紙、二、心、的、實、際、上、  
 二、一、院、觀、之、一、身、二、五、一、一、支、印、入、一、美、化、一、才、能、及、相、欲、一、  
 一、常、欲、上、諸、區、細、區、民族、上、一、一、區、傳、之、是、二、一、一、熱、練、十、二、

財部 靜石